

令和6年度 九州八県赤十字大会 開催

昨年12月17日（火）に、福岡県福岡市のヒルトン福岡シーホークにおいて令和6年度九州八県赤十字大会が開催されました。

同大会には日本赤十字社名誉副総裁 寛仁親王妃信子殿下ご臨席の下、九州各県から約650名の参加がありました。沖縄県からは受章者5名をはじめ有功会員、奉仕団員、地区分区職員など総勢41名が参加しました。



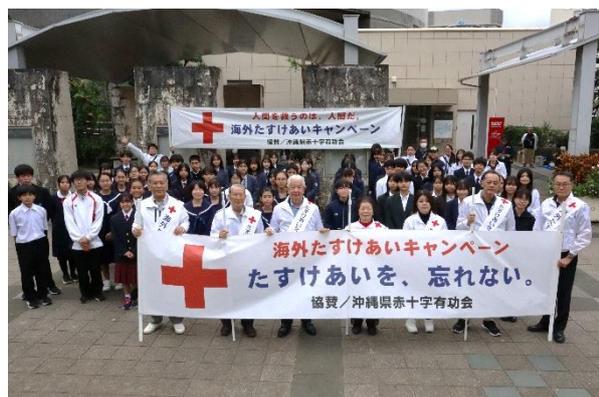
【受章者】

金色有功章（個人） 比嘉 梨香 様（写真 最前列右から3番目）
社長感謝状（法人） 沖縄綿久寝具(株) 様〈有功会員〉（最前列左から3番目）
（株）国際ビル産業 様〈有功会員〉（最前列右から2番目）
（医）徳洲会 中部徳洲会病院職員御一同 様〈有功会員〉（最前列右端）
（宗）白い家フェローシップチャーチ 様（最前列左から4番目）
～ご受章誠におめでとうございます～

NHK海外たすけあい街頭募金実施しました

昨年12月21日（土）に、県庁前県民広場や国際通り周辺にて「NHK海外たすけあい」街頭募金を実施しました。

当日は中学、高校の青少年赤十字メンバーや教員、赤十字有功会員など合わせて105名が行き交う人々に協力を呼びかけ、188,036円の募金が集まりました。



赤十字の防災教育



近年頻発する大規模地震や大雨災害などから人々の命を守るためには、災害が起きる前に自分自身の身を守る「自助」と地域コミュニティにおける「共助」の力を高めることが極めて重要となっています。

日本赤十字社沖縄県支部では、「いざ」という時の備えのための「赤十字防災セミナー」に力を入れています。令和6年度は4～9月末までに開催回数33回、のべ約1,490名の皆さまに受講いただいています！

ひなんじょたいけん（避難所運営ゲーム）

避難所運営をみんなで考えるためのアプローチとして、静岡県が作成したHUG（避難所運営ゲーム）を基に、日本赤十字社が許諾を受けて作成しました。専用のカード等を用いてグループワークを行います。

避難者の年齢、性別、国籍などそれぞれが抱える事情が書かれたカードを、避難所の体育館や教室に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、また避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを疑似体験していきます。



令和6年5月30日、豊見城市役所の職員を対象「ひなんじょたいけん」を行いました。

KAG（家具安全対策ゲーム）

自宅の部屋などの平面図などを作成し、大地震が起きた時に潜む危険な箇所を探すことで、家具のキケンなどに目を向けてもらい、自分の身を守る「自助」についての意識向上につなげるプログラムです。

家庭だけでなく、事業所内においても利用者や従業員等の安全対策について考え、そして「気づき」がまった平面図（ワークシート）を参加者に持ち帰っていただくことで、生活スペースでの防災・減災への行動につなげていきます。



令和6年10月6日、社会福祉法人の介護職員向けにKAG(家具安全対策ゲーム)を行いました。

ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん！

災害時の危険（場所・行動）について伝え、自分の身を守るための基礎的な知識や判断力を身に付けてもらうため、4歳以上の子どもたちが学べるように赤十字が作成した教材です。

身近な学校、町の様子が描かれたイラストの中から、子どもたち自身で、危険な場所を探していきます。「この人あぶないよ！」「ぼくだったらこうするよ！」といった活発な意見が飛び交います。



令和6年9月12日、中原小学校にて2年生向けに防災教室を実施しました。

日本赤十字社沖縄県支部では、防災教育事業のほかにも「人間の命と健康、尊厳」を守るための活動に日々取り組んでいます。皆様からのご協力・ご支援を何卒お願いいたします。